

平成 29 年度花巻市石鳥谷地域協議会第 2 回会議 会議録

【日 時】 平成 29 年 10 月 25 日（水）午後 4 時 00 分～午後 5 時 30 分

【場 所】 石鳥谷保健センター 2 階 講義室

【出席者】 出席委員：10 名

似内英悦委員、晴山美紀子委員、晴山淳子委員、伊藤浩司委員、
岩館 仁委員、熊谷秀夫委員、八重樫康治委員、佐藤芳彰委員、
高橋公男委員、板垣武美委員

欠席委員：5 名

横田竜太委員、伊藤昌明委員、田中由一委員、藤澤信悦委員、鎌田愛子委員

市側出席者：14 名

建設部都市政策課

佐々木都市政策課長、粒針公共交通係長、高橋主査

石鳥谷総合支所

菅原総合支所長、藤原地域振興課長、中村市民サービス課長、八重樫地域
支援監、畠山地域振興課長補佐、阿部同課長補佐、藤井同課長補佐、小原
市民サービス課長補佐、晴山地域づくり係長、伊藤主査

【諮 問】

南部杜氏の里づくりの推進について

南部杜氏伝承館リニューアル市民ワークショップの結果及び道の駅全体の再編計画の今後の進め方について説明があり、計画再構築となった経緯やワークショップの活用方法、完成時期に関する質問等が出された。地域協議会としては道の駅全体の再編計画を早く示してほしいという意見が出た。

【協 議】

花巻市石鳥谷地域協議会だよりの発行について

地域協議会の概要及び会議内容について周知させることを目的とし、石鳥谷地域の住民を対象に「花巻市地域協議会だより」を発行することとした。なお、発行にあたっては会議において指摘のあった箇所を修正することとした。

【報 告】

(1) 石鳥谷駅前駐車場の利用状況について

市営駅前駐車場について資料に基づき説明があり、8 月末で駐車スペースが閉鎖となった駅前ロータリーの今後の整備予定や駅西広場の駐車スペースについて質問意見が出された。

(2) 予約応答型乗合交通について

最終運行時間の延長については、財政的な観点から実施困難との説明があったが、複数の委員より、事業経費が増えたとしても利用者増加につながるのであれば運行時間の 1 時間延長を検討すべきではないかという意見等が出された。

【その他】

なし

【傍 聴】

会議を傍聴した者 なし

※ 会議での発言等は別紙顛末のとおり

※ 会議における配布資料は以下のとおり

資料

- (1) 何部杜氏伝承館リニューアル市民ワークショップふりかえり資料
- (2) 花巻市石鳥谷地域協議会だより原稿（案）
- (3) 石鳥谷駅前駐車場の利用状況について
- (4) 予約応答型乗合交通について（諮問に対する答申への対応及び利用状況等について）

顛 末

進行：藤原地域振興課長

1 開 会

藤原地域振興課長

本日はお忙しいところ、花巻市石鳥谷地域協議会にご出席いただきましてありがとうございます。本日の会議には、横田竜太委員、伊藤昌明委員、田中由一委員、藤澤信悦委員及び鎌田愛子委員から出席できない旨の連絡がございましたのでお知らせいたします。

それでは、ただいまから平成 29 年度花巻市石鳥谷地域協議会第 2 回会議を開会いたします。開会にあたりまして、似内会長からご挨拶をいただきます。

2 会長挨拶

似内会長

お忙しいところご出席いただきまして感謝申し上げます。

10 月 15 日号の市の広報を見て、花巻市の平成 28 年度の決算と財政状況の記事が載っておりましたが、いろいろな事業を展開しているなど感じました。市内全てのコミュニティの活動状況も載っており、その内容を見るとハード事業が約 40%、ソフト事業が 37%ぐらいという状況でした。かつては、街路灯や防犯灯、道路の簡易補修など予算がハード事業に傾くのはやむを得ないと思っておりましたが、これはあくまで私見ですが、これからはソフト事業にもっと力を注いだ方がいいのではないかと感じております。生涯学習に関する事業が 10%にも満たない状況ですので、これでいいのだろうかと感じたところでございます。

石鳥谷地域の各コミュニティの共同事業として在京石鳥谷町人会との交流事業を各コミュニティ持ち回りで行ってありますが、共同事業をもう少し広げられないだろうか感じております。例えば、かつて日居城野でコミュニティ会議対抗のスポーツ大会がありましたが、今は無くなっており、その代わりに昔の町民体育祭のようなものがあってもいいのではないかと考えたりしております。石鳥谷地域が一つにまとまって取り組むような事業があってもいいのではないかと感じております。

今日の会議がスムーズに進めばと思いますので、よろしく願いいたします。

(新委員の紹介)

藤原地域振興課長

ここで、新しく石鳥谷地域協議会の委員になられた方々をご紹介します。

藤原美智子委員及び藤原信雄委員の辞任に伴い、石鳥谷町女性団体連絡協議会会長の晴山淳子さんと、好地地区まちづくり委員会会長の岩舘仁さんが、それぞれ後任の委員とし

て、5月15日付けで新しく委員に選任されました。お二人の任期は、前任の委員の残任期間となりますので、平成30年4月30日までとなります。どうぞよろしく願いいたします。

(藤原地域振興課長より資料の確認及び事前配布の資料の変更について説明)

3 諮 問

藤原地域振興課長

ここからは、花巻市地域自治区設置条例第9条の規定により、会長に議長をお願いいたします。

似内会長

それでは、次第3の諮問に入ります。「南部杜氏の里づくりの推進について」担当より説明をお願いします。

(南部杜氏伝承館リニューアル市民ワークショップの結果について、資料に基づき石鳥谷総合支所地域振興課産業係菊池上席主任より説明)

菅原総合支所長

それでは今後の進め方について説明をさせていただきます。南部杜氏伝承館のリニューアルについては、学識経験者や各種団体の代表者等で構成しております南部杜氏伝承館リニューアル整備市民懇話会において、現状の課題あるいはリニューアル整備の基本理念について検討していただき、それをもとに南部杜氏伝承館のリニューアル整備基本方針案を策定し、地域協議会からご意見を伺うとともに、パブリックコメントを実施することにしておりましたが、その進め方を若干変更することになりました。南部杜氏の里づくりの推進については、最初に南部杜氏伝承館のリニューアルに取り組むこととし、道の駅全体の魅力向上を図っていくという計画でありましたが、市民ワークショップでのご意見、あるいは博物館等の展示を手掛けている方やプロジェクトに取り組んでいる方、道の駅の第一人者といった方々からのご意見を伺っておりまして、それらを総合しますと、南部杜氏伝承館をより良いものにするためには、道の駅全体のコンセプト、各施設の位置づけや再編の方向性についても検討し直す必要性を感じたということから、南部杜氏伝承館のリニューアルを含めた道の駅全体の再編の計画について定めなおすこととし、再編計画の策定については来年度中に行いたいと考え、その進め方について検討しているところでございます。本日は市民ワークショップの結果に対するご意見、あるいは今後の進め方に対するご意見を伺いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

似内会長

ご意見、ご質問ございますか。

私から質問ですが、前に説明いただいた道の駅周辺施設の再編計画というのは、白紙に戻ったということになるのですか。

菅原総合支所長

白紙ということではなく、それをベースにより良いものにするために、各施設の関係性と言いますか位置づけを考え直していくということですので、今までいろいろ検討してきたことやご意見等を伺ったことは今後検討する上で生かしていくということになります。

似内会長

分かりました。喫緊の課題になっている駐車場問題の件は、次の再編計画の中に含めるということになるのですね。

菅原総合支所長

駐車場につきましては、図書館の前にイベント広場があり、樹木や構築物等ありましたが撤去し若干広げております。今後は国土交通省が管理する駐車場との連携を図ることを検討したいと思っておりますので、駐車場の拡大については国土交通省と協議をしながらこれからも進めていきたいと考えております。

似内会長

分かりました。どなたかご意見等ございますか。

岩館仁委員

道の駅全体のリニューアルを検討するという話ですけれども、道の駅全体というのは、括りとしてはどの位までなのでしょう。

菅原総合支所長

南部杜氏伝承館は道の駅のシンボリックな核となる施設であります。この他に酒匠館、りんどう亭、産直があり、これらの在り方とか、あるいは道の駅の駐車場と国土交通省のふれあい情報館やトイレもございまして、どこまで考えるかは今後の検討となりますが、周辺の歴史民俗資料館や石鳥谷図書館、農業伝承館も含まれることとなります。

岩館仁委員

そうしますとかなり範囲が広くて、伝承館1つだけ考えていくという形では進められない。今お話しになった施設全体を市民に投げかけてというのは、ちょっと無理があるのではないかと思います。色々な種類が混ざったものをどうやっていくか方針を立てるのは、なかなか難しいのかなと思います。市がある程度のアウトラインを示して、それから市民に対し

て、こういう内容を考えているがどうだろうかというように、何か提案みたいなものが市から出てこない、市民に考えてと言っても無理なのではないかと感じます。

菅原総合支所長

全体的な構想については、最初から皆様に考えていただくということではなく、市が皆様からいただいたご意見を基にしながら、あるいは専門家のご意見も聞きながら案を考え、それを皆様にお示ししたいと思っております。

岩館仁委員

そうしますと市で案を示すのが、平成30年度になるか何年度になるか、そこからスタートするということになると思います。予算もどの位になるのか、その辺も関係してくるのではないかと思います。

菅原総合支所長

かなり広い範囲の話をしましたが、どちらかというメインとなるのは伝承館あるいは酒匠館、りんどう亭、産直、駐車場の施設でありまして、それらを今後検討いたしまして、スケジュール的にもどうなるかお示ししていきたいと思っております。

似内会長

岩館委員さん、よろしいでしょうか。

いずれにせよ、いつもそこに私達が携わっているわけにはいかない、たたき台を出してもらいたいと思います。それぞれの施設の性格も色々あると思いますので、それらを加味しながら示していただければ良いと思います。

伊藤浩司委員

本当に素晴らしい道の駅になれば良いと思っております。ワークショップについてですが、花巻市ではこういうやり方をしているのでしょうかけれども、その後に各団体の長の方などが検討されるということで、どのくらい仕上げるのか分かりませんが、通常のワークショップですと、例えば、民間では社員が話し合いそれをまとめて実際に具体的な案に持つていく事が一般的です。これから検討する立場の方もワークショップに入って、その中で議論をして作り上げるというのが普通のやり方の様な気がするのですが、何故分離するのでしょうか。これが普通のやり方なのでしょうか。ワークショップで市民に意見を求めて、その結果を見て誰かが方向を決めるというやり方ですよね。でもその方向を決める方はワークショップに参加していろいろな話をしていく訳では無いのですよね。これから決める方、考える方が実際にワークショップに参加して一緒に考えなければ、ワークショップの意味が無いような気がするのですけれども、どうでしょうか。

菅原総合支所長

当初の考え方、進め方の中では、市民の方からワークショップでいろいろな意見を吸い上

げて、それから関係団体の長や学識経験者などで構成する市民懇話会というものを設置しまして、そこで考えたものを市で集約して案を考えようということでスタートしたものであります。その市民懇話会のメンバーに予定されている方でワークショップに参加した方も一部いらっしゃいますが、その方々に最終的な案まで作り上げていただくというような考えは持っていませんでしたので、そういう手法を取りました。

伊藤浩司委員

せっかくワークショップで色々な意見が出たので、真剣に吸い上げるという作業が必要だと思います。この資料を見ても、一応形としてやったけどそれぞれに考えがあるなど、ではこのワークショップはどのような意味があるのかと。そのようなケースが多いものですから、出来るだけ意見を真剣に吸い上げる気持ちが必要だと思いますので、最初からメンバーとして入ってやったらどうかと思ったわけでございます。ぜひ参考にしてもらえればと思います。宜しくお願いします。

似内会長

他にございませんか。

板垣武美委員

これまでの地域協議会の関係資料を持ってこなかったもので、少し話のつじつまが合わないかもしれませんが、当初は道の駅全体のリニューアルについての色々なワークショップ等してきたと思っておりました。ところが今年に入り、花巻市市民参画・協働推進委員会で、南部杜氏伝承館のリニューアルについて、基本的な方針を2年くらい時間をかけてまとめ上げるという説明を受けまして、今日来たら全体的な構想の取りまとめに軌道修正したという支所長のお話を聞いて少し混乱しました。多分先ほどと同じ説明にはなると思いますが、この間の経緯をもう少し分かりやすく、もう一度説明をお願いします。

菅原総合支所長

道の駅の全体的な構想は、昨年度まで色々と地域協議会の委員の皆さまにもご意見を伺いながら進めてきておまして、ある程度方向性が定まったという思いでおりました。その中で、まずは今年度、南部杜氏伝承館のリニューアルに取り掛かろうということで、今回、市民ワークショップを行ったところであります。先ほど申し上げたとおり、最終的にはリニューアルの基本案を市で策定いたしまして、地域協議会に意見を聞くことで進めておりましたが、ワークショップを行った段階で、あるいはそれと並行して専門の方からいろいろご意見をお聞きした中で、南部杜氏伝承館のリニューアルだけをやろうとしても他の施設の関連性も考えないと上手くいかない部分があり、このまま進んでも良いものにはならないということで、当初考えていたやり方を軌道修正し、道の駅全体の構想を考え直すこととしたわけであります。

板垣武美委員

南部杜氏伝承館のリニューアルの件については従来どおり進めていき、更に全体的な構想をまとめ上げるということですか。それとも、全体的な構想の中に伝承館のリニューアルについて組み込む考え方ですか。

菅原総合支所長

考え方としては後者の方で、南部杜氏伝承館のリニューアルも含めた、道の駅全体の再編を考えるとということであります。

板垣武美委員

それはいつまでにやるお考えですか。

菅原総合支所長

何とか来年度中に、と考えておりますが、関係団体とのいろいろな調整も必要ですので、その結果によっては時期が延びる可能性もあり得ると思っております。今の考え方といたしましては、何とか来年度中にと思っているところであります。

似内会長

他にありませんか。

高橋公男委員

この件については、かなり前から色々な議論を積んで、そして総合支所長さんが変わる度に新たに協議してきているので、かなり進んでいるものと思いますし、意見も聞いているわけですから、来年度に全体の再構築をするということですので、最終的に道の駅のリニューアル完成が何年になるのかはっきり明記したものにしていきたいと思います。そうしないと道の駅のリニューアルがいつ完成になるか分からない。はっきりと完成年度を協議いただきたいと思っております。国土交通省の管轄の部分もありますので、構想ができてから協議をするのではなく、構想を立てる段階から国土交通省と協議をしながら進めていきたいと思っております。

菅原総合支所長

全くそのとおりだと思います。この構想に取り組んでから5、6年は経っておりますので、いつ出来るのかと皆さん思っらっしゃると思います。なるべく時期を明示しながら、関係機関と十分協議を進めながら、確実に実現できるように進めてまいりたいと思っております。

似内会長

他にございませんか。

南部杜氏伝承館を道の駅の集客のメインと位置づけ、地方創生事業だったと承知しており

ましたが、伝承館で上映している南部杜氏の映像のナレーションの英語版を制作したということもありました。その取り組みは認めてもいいのではないかと私は思います。今、意見が出されているように、道の駅全体の再編計画を早く示してほしいというのが、この協議会の意見ではないのかなと思います。誰もがそのように思っておりますので、よろしくお願いいたします。

この件について、その他ございますか。よろしいでしょうか。
では、次の協議に進めていきたいと思っております。

4 協 議

似内会長

次第4の「協議 花巻市石鳥谷協議会だよりの発行について」説明をお願いします。

(資料に基づき地域振興課地域づくり係伊藤主査より説明)

似内会長

地域協議会だよりの発行につきましては、事前に資料が各委員さんに郵送されていると思います。内容について疑問や追加してもらいたいことがあれば、お出しいただきたいと思っております。11月15日に発行したいということがございます。ご意見をお聞かせください。

高橋公男委員

発行することについては良いと思います。そこで、1つ付け加えさせていただきたいと思っております。地域協議会の設置については案のとおりで良いのですが、「平成18年の合併時に」というところで「～大迫・石鳥谷・東和の3地域に地域自治区が設置されました。」とありますが、花巻地域についての説明がありません。条例が違いますが花巻地域にも自治推進委員会があります。そこで、「～3地域に地域自治区が設置されました。」の次にカッコ書きで良いので、「花巻地域は、花巻市地域自治推進委員会設置条例により花巻市地域自治推進委員会を設置」というような表現を入れていただきたいと思っております。1市3町は対等合併しておりまして、旧町の3地域は地域自治区を設けることができますが、花巻地域は地方自治法の第138条の4の第3項の規定により花巻市地域自治推進委員会を設置しているということですので、その説明を追加していただきたい。この説明が無いと、3地域のみという形に見えますので、1市3町は同じ形ですのでお願いしたいと思っております。

藤原地域振興課長

分かりました。そのようにさせていただきます。

似内会長

そのとおりだと思いますのでよろしく願いいたします。
他にはございませんか。

晴山美紀子委員

裏面の第2回会議の「(1) 協議の副会長の選出について」で、川村委員のフルネームを載せた方が良いと思います。

藤原地域振興課長

第1回会議の内容で川村委員の氏名が載っておりますので、省略させていただきました。

似内会長

よろしいですね。

岩館仁委員

表面の左側の写真が平成29年1月の写真ですが、今年度4月28日に会議を開催している
ので、前年度ではなく今年度の写真があれば使用した方が良いと思います。

藤原地域振興課長

直近のものを使用した方がよいということですね。確認して直したいと思います。

似内会長

よろしいでしょうか。

板垣武美委員

今の写真の件ですが、私も別な意味で他に写真がないのかなと思いました。八重樫部長さんは今は総合政策部長ではありませんので、もう少し近い会議の様子があれば良いのかなと思いました。それから気になったのは、委員名簿の「選出基盤等」というのは通例ですか。基盤というのがちょっと気になったのですが。

藤原地域振興課長

根拠等を調べて確認させていただきます。

板垣武美委員

これは回覧ですか、全戸配付ですか。

藤原地域振興課長

全戸配付です。

板垣武美委員

前からそうでしたか。

藤原地域振興課長

その様にさせていただいております。

高橋公男委員

第何号になりますか。何回目の発行になりますか。

藤原地域振興課長

分からないので確認いたします。

熊谷秀夫委員

会議資料の名簿も「選出基盤」となっています。

藤原地域振興課長

手元に資料がないので確認できませんので、正確にお答えできません。確認のうえ正しいものに直したいと思います。

熊谷秀夫委員

裏面の第3回会議と平成29年度第1回会議の諮問の内容のところで、文章の最後の方に脱字の部分があります。

藤原地域振興課長

ありがとうございます。再度、脱字関係は確認させていただきたいと思います。

似内会長

他にはございませんか。

11月15日発行なので、区長配付になる前に修正したものを委員へ事前に郵送していただけますか。

藤原地域振興課長

分かりました。その様にさせていただきます。

5 報 告

(1) 石鳥谷駅前駐車場の利用状況について

似内会長

それでは次に、次第5の報告に入ります。(1)「石鳥谷駅前駐車場の利用状況について」ご説明をお願いいたします。

(石鳥谷駅前駐車場の利用状況について、資料に基づき石鳥谷総合支所地域振興課藤井課長補佐より説明)

似内会長

ありがとうございました。ご質問ございますか。

熊谷秀夫委員

素晴らしい駐車場を造っていただき、本当にありがとうございます。2つほど伺いたいと思います。まず1つは、駅前広場は岩手県管理になるのですが、今後どのようなのでしょうか。もう1つは、駅の西側の広場に十数台の駐車場がありますが、位置付けは今後どうなるのかと。同じ人がずっと使っているように見受けられます。駅前には整備されましたが駅西の方はどうなるのか、この2点でございます。

藤井課長補佐

駅前広場につきましては、お話のとおり岩手県花巻土木センターで管理されております。今回の駅前駐車場の開始に合わせて、広場の真ん中にありました駐車スペースを、身障者用を3台分残して閉鎖している状況でございます。土木センターの方からは、なるべく使いやすい形に整備したいという話は聞いておりますが、具体的な案については検討中と聞いております。市からは、送迎の乗り降りするスペースは確保していただきたいということはお伝えしてまいりました。ただ、具体的な配置のリニューアルについては検討中とお聞きしております。今、バリケードが真ん中の駐車スペースを囲って、勝手に止められない状態にしておりますが、あのバリケードも見栄えの良いものに替えたいというお話も伺っております。

もう一つの西側の駐車場の件ですが、駅前駐車場をオープンした後に、時々利用状況を見て回るようにしてまいりまして、毎日数台停まっているのは確認しております。以前、同じ車が毎日停まっているという状況もありまして、調査したところ、市営住宅の利用者が許可を得た形で停めているのが4、5台ありました。それについては、市営住宅の中に駐車スペースを確保していただくようお願いいたしまして、そちらに車を移動している状況となっております。ただ毎日、何台かは不特定多数であります確認しております。その今後の利用方法については、今のところ特段検討しておりません。今の状況のままが続くのではないかと考えております。

似内会長

熊谷委員さん、駅前の駐車場のバリケード、白線等についてのご意見はありませんか。

熊谷秀夫委員

県の方で検討するということですが、電車の送迎等でやはり送迎車のスペースは設置してほしいという気がします。今までどおりでいいのかは分かりません。苦情は来ていないのか、せつかく今まで停められたのに急にバリケードが設置されて、家族の送迎に来てでも停める場所が無いと感じている人もいるかもしれない。ぜひ、県で上手く考えていただきたいと思っています。

藤井課長補佐

今お話があった苦情等についてですが、駅前の駐車スペースに車が置けないという直接の苦情ではありませんが、送迎に来た車がロータリーには入らず周りの道路に停まって待っているというお話は1件程伺っています。それについては、土木センターにも情報提供しています。道路に車が停まっている状況も確認しておく必要があるのではないかという話があり、そのとおりでと思いますので、これから状況確認をしつつ市営駐車場のPRもしていこうと考えております。

似内会長

私も今日石鳥谷駅に行き新幹線の切符を買ってきましたが、駅の窓口に用がある時、市の駐車場に停めないでロータリーの周りに停めようかなと思う人がいると思います。その辺も考慮していただければという気はします。送迎とはまた違いますしローカル駅ですので、いくら配慮があれば良いのではという気がします。

晴山美紀子委員

駅前ロータリーへの入口と出口はそれぞれ一方通行ですが、入口を間違える人が結構います。駅東側の県道から、たかお食堂さんの前を真っ直ぐ入る車が結構いるようです。私はよく駅前を通りますが、入口と出口の区別が分からない人や一時停止もしない人がいます。ロータリー前の南北の道路は、駅前で一時停止しなければなりません、停止しない車が結構います。北側の道路からロータリー前の交差点に入るとき、一時停止線で止まっても道路が見えない。分からない人には凄く複雑な場所だと思います。

藤井課長補佐

駅のロータリーに向かって左側が入口で右側が出口ですが、出口については逆走してくる車があるという話がありましたので、先日土木センターに、「進入禁止」と路面に文字を書いたらどうかと話をしてきました。

晴山美紀子委員

直進してきて進入禁止だと、どこから入れれば良いのか分からない。若い人は分かると思いますが、年寄りには見えないと思います。

藤井課長補佐

土木センターで駅前ロータリーについて検討中ですので、案内板の設置についても検討していただくようお願いしてみたいと思います。

似内会長

「進入禁止」と路面に書くのは良いが、ロードヒーティングが入っている訳ではないので、冬場になれば見えなくなる。晴山委員さんがおっしゃったように、分かりやすく矢印を設置するだけでも良い感じがします。工夫をしてみてください。最悪の事態が起きないように、気を付けるようになれば良いと思います。

後は、ございませんか。

それでは、次に進めさせていただきます。

(2) 予約応答型乗合交通について

似内会長

予約対応型乗合交通についてご説明をお願いします。

(予約対応型乗合交通について、資料に基づき建設部都市政策課公共交通係高橋主査より説明)

似内会長

ありがとうございます。答申の中で少し時間を拡大してほしいとお申しましたが、それは難しいという回答なのだと思います。今後の検討事項には入っていると思いますが、当面は難しいと承知いたしております。

ご意見ご質問をお願いします。

板垣武美委員

財政的な事は分かりませんが、試算によれば140万円増えるという事ですよね。私は、140万円増えるのならば、拡大した方が良いと思います。その他にも、事業者の対応の可否やタクシー業を圧迫してしまうというのがありますが、タクシー業の圧迫については、何か試算しているのでしょうか。

佐々木都市政策課長

試算はしておりません。ただ、運行を担っているタクシー業の皆さんと色々とお話をする機会がありますけれども、予約乗合タクシーを導入した際には、やはり影響があったというお話はいただいております。一定の便利さを残すということで、バス・タクシー・予約乗合バスの共存をしていかなければならないと考えているところであります。

板垣武美委員

これから、交通弱者がどんどん増えていくと思っておりますし、この事業は生活に本当に密着した事業なので、1億4千円や1千4百万円かかるならまだしも、140万円程度と言えば申し訳ないですが、可能であれば再検討をしていただきたいと思います。こういう事業に力を入れてもらいたい。これは私の感想・意見です。回答はおりません。

似内会長

ご意見ということでお聞きいただきたいと思います。
その他にございますか。

八重樫康治委員

利用状況を見ますと、医療機関など交通弱者の方が利用されていて、非常に素晴らしい事業だと思っています。2ページに月毎の利用者実績がありますが、平成29年度の実績をどのように考えていますか。

高橋主査

平成28年度の状況を見ますと、前年度に比べ減っている状況が顕著に見えておりましたが、平成29年度は平成27年度並みに回復の傾向にあると感じております。1日最大利用者数は52人と伸びておりますが、1日平均だと30人強であります。その部分を考えますと、今までの予約乗合タクシーよりは、利用は増えてきていると感じているところでございます。

八重樫康治委員

地域の懇談会等で市長さんがいらっしゃる時にも、非常にこの事業に力を入れているという感想を持ちました。私もコミュニティ等でこの事業を勧めておりますが、必要だと思われる人がたくさんいますが、まだまだ申込者が少ないというのが実感でございます。困っている人達がもっと気軽に利用できるように、これから色々な対応をしていかなければならないと思っています。私はこの数字よりもっと増えてもいいのではないかと考えています。先ほど1時間の延長について板垣委員さんからも話がありましたが、私も全く同感で、今の運行状況では利用実績のとおり女性が多く利用するのなのかなと思います。あと1時間増やせば男性の利用者もかなり増えるのではないかと考えております。今まで色々な意見が出ていの中で、その様な要望が多かったのです。運行時間の1時間の拡大について、私も140万円程度の増であれば、是非何とかやって欲しいなと思っておりますし、この事業を実施するにあたりタクシー業に影響が出るのは当たり前の話だと思って、その手当てについては業界と調整していただきながら、1時間の拡大については是非前向きにご検討いただきたいと思います。

佐々木都市政策課長

ご意見として承りたいと思います。140万円の話ですが、市全体ではなく石鳥谷地域だけを考えた金額になります。仮に時間延長した場合、石鳥谷だけでなく東和、大迫、更には花巻地域と全体に波及する部分でございますので、石鳥谷地域だけではなく、全体を考えながら検討しなければならないのかなと考えております。その点をご理解いただきたいと思えます。

岩館仁委員

この1時間延長という答申がどういう理由で出たか分からないのですが、例えば実際に冬は高齢者はどの程度外出するのかとか、夕方の外出状況とか、時間帯毎の利用状況を分析してみても検討した方がいいと思います。

佐々木都市政策課長

ありがとうございます。内容についてさらに分析していきたいと思えます。

伊藤浩司委員

私は基本的に業者の圧迫はない方が良いというスタンスですが、タクシーの予約が混み合って断る場合があっても、今の段階では増車できないという話を前回聞きました。予約があっても断っているというのは何人いらっしゃるのでしょうか。

高橋主査

予約乗合の混雑する時間帯というのがありまして、一番多い時間帯が朝8時台の利用でございます。その次が11時台の利用になっておりまして、この時間帯だと当日の予約が取りにくくなっているという状況です。ただその場合に、8時台の予約が取れない場合9時台をお勧めしたりするなど、別の時間帯をご提示している状況であります。予約の受付自体はタクシー会社が行っているの、混雑の時は1件2件断っていると聞いています。その他の混んでいない時間帯については、時間をずらした形で対応できているという状況でございます。

伊藤浩司委員

混んでいない時は問題無いと思いますが、混んでいる時の場合、1・2件断っているというのですが、今のところ増車の必要は無いということですか。

高橋主査

現在、1日最大52人という状況であります。石鳥谷地域では最大70人強くらい対応可能であると試算していますので、現時点ではまだ増車については考えていない状況でございます。

伊藤浩司委員

仕組みとしては、車両は乗合バス専用で固定して運行を割り当てているのか、それともタクシー車両として自由に運行している車両を割り当て、必要無い時は普通にタクシーとして運行し、必要がある場合は乗合バスになるのか、どのようなシステムなのか。

高橋主査

車両につきましては、運行する日は3台を借上げて運行しております。借り上げ料を支払っていますので、たくさん乗っていただいた方が効率が良くなるという状況にはなりません。

伊藤浩司委員

分かりました。ありがとうございます。

似内会長

他にございますか。

今出ました意見としては、公共の福祉を考えた場合、140万円が果たして予算的に厳しいものと言えるのかどうかというところが、大きなポイントではないかと思えます。ただ石鳥谷地域だけが140万円で、大迫・東和・花巻も足していけば、500万円、1千万円になるかもしれませんが、もう少し考えるべき部分があるのではないかというのが、この意見だと思っております。

他にございませんか。

なければ、これで「予約乗合型交通について」を終了いたします。ありがとうございます。

以上で、本日の会議の次第は終了でございます。

6 その他

似内会長

次第6の「その他」に入りますが、事務局から何かございますか。

藤原地域振興課長

特に、ございません。

似内会長

委員さんの方から何かございますか。

なければ、事務局の方にお返しいたします。

7 閉 会

藤原地域振興課長

長時間に渡りまして、大変ありがとうございました。貴重なご意見等をいただきましたので参考にしていきたいと思います。

これもちまして平成29年度花巻市石鳥谷地域協議会第2回会議を終了いたします。